

作業療法だより(8)

平成19年9月

今回が9回目となる作業療法だよりは、当院で患者様に対して作業療法士が作成し、提供しているハンドスプリントの紹介をさせていただきます。ハンドスプリントとは、手や指の変形や変形による痛み等を抑えるために使用されるものです。実際にその患者様の手に合わせるため作業療法士が手や指の採寸し作製します。

スプリントの多くは、関節リウマチ、熱傷、脳血管障害、末梢神経障害などに使われ、受傷患者様の日常生活における動作に代償を用いて円滑に行えるようにする器具です。

1. スプリント療法の目的

皮膚組織の安静や状態の維持を図るための「固定」や「支持」、外力からの回避や関節などの変形防止などの「保護」や「予防」を行いつつ、関節可動域や変形の改善などの「矯正」、動かなくなった筋(麻痺筋)の代用、筋力強化、筋肉や腱などの滑走の獲得を目的とします。

2. スプリント療法施行(作成)の流れ

I. 主治医からの指示、もしくは作業療法士からの提案



II. 作業療法士による患者様の受傷部位の評価(検査)



III. 患者様の必要な目的と機能の明確化

- ・受傷において弱化した身体部位対してのサポート



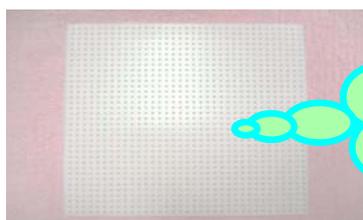
IV. 作成するスプリントのデザインおよび構造の決定

- ・スプリントの種類(静的or動的or段階的)
- ・スプリント装着面の選択(背側面・掌側面・全周型)



V. 作成および完成後の動作の評価(検査)

- ・スプリント素材は約70℃前後のお湯で柔らかくなる低温熱可塑性プラスチックを使用



「アクアプラスト」というスプリントを作成するための原板です。



「背側アウトリガースプリント」

- ◆ 損傷・骨折などに使用



「短母指対立スプリント」

- ◆ 正中神経麻痺・骨折など

当院作業療法では、患者様やその家族様など、より多くの情報を共有し、患者様に最適なスプリントを提供することにより、質の高い日常生活を送って頂けるよう心掛けております。